

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に係る 県内企業への実態調査の結果について

商工労働観光部において、5月12日（水）から5月26日（水）まで、商工団体や県民局と連携し、「宿泊・観光・旅行・飲食・イベント業」をはじめ、「運輸業」や「卸売業」、「製造業」など、幅広い業種を対象に、県内企業へ「実態調査」を実施しました。

「178社」から回答があり、取りまとめた結果は、次のとおりです。

1. 売上の状況（対前々年比較）

	4 月 実 績			5 月 見 込		
	減少	うち 50%以上 減少	良化 (前々年並み等)	減少	うち 50%以上 減少	良化 (前々年並み等)
全体	75 %	34 %	25 %	75 %	35 %	25 %
製造業	67 %	21 %	33 %	70 %	25 %	30 %
観光関連	91 %	59 %	9 %	97 %	57 %	3 %

	6 月 見 込			7 月 見 込		
	減少	うち 50%以上 減少	良化 (前々年並み等)	減少	うち 50%以上 減少	良化 (前々年並み等)
全体	73 %	34 %	27 %	73 %	31 %	27 %
製造業	67 %	23 %	33 %	70 %	19 %	30 %
観光関連	93 %	52 %	7 %	90 %	50 %	10 %

※観光関連：宿泊・観光施設・旅行・飲食・イベント業

2. 具体的な影響の内容

（1）資金繰り

- ・ 厳しい状態であるが、無利子融資で補っている。
- ・ 当面は賄えているが、長期的には不安。
- ・ GoTo トラベル事業の停止等により、資金繰りが非常に厳しい。

（2）雇用の状況

- ・ 雇用調整助成金を活用し、雇用の維持に努めている。
- ・ 緊急事態宣言等の動向によっては、雇用継続が厳しくなる。

（3）将来の見通し

- ・ しばらくは苦しい状況が続くと考えられる。
- ・ 消費行動等の変化にあわせた経営改革が必要となっている。
- ・ 感染抑制やワクチン接種による環境の変化に期待している。

3. 国・県への要望など（複数回答）

- ・ 雇用調整助成金の特例措置の延長（26社）
- ・ 「とくしま応援割」や「クーポン券」の再開による県内消費喚起（14社）
- ・ 無利子融資の継続（8社）